

利府町民劇団 ありのみ 第二十二回公演

浜田・馬の背お伽草子

とぎぞうし

…あなたはすぐに停船されたい…。

太陽光 「浜田港のようにたおやかな良い子だ。」

女 「利府の海が娘を見守ってくれてるって、

私、いつも思うんです。」

地熱 「海に向かって伸びる馬の背のように、

あの子も育つだろうよ。」

作・演出／伊澤 美樹

平成30年3月10日(土) 18:30～
11日(日) 10:45～
[開場30分前]

利府町公民館 3F文化ホール
(JR利府駅 徒歩5分)
前売・当日共500円

MEMBER



相澤友萌



赤間長悦



浅倉麻里衣



安達なほみ



伊澤美樹



石川茂子



小野崎 李



小幡星奈



工藤真里



齋藤茅乃



齋藤しのぶ



櫻井 勤



成田 毅



原田晶子



眞山智子



三浦きえ



遊佐 瞳



渡部 由美子

STAFF

演出 伊澤美樹
 助演出 石川茂子
 舞台監督 伊藤祥司
 装置 伊藤祥司
 照明 鈴木昭彦
 音響 加藤俊夫
 衣装 渡部由美子
 小道具 渡部由美子

メイク 齋藤しのぶ
 振り付け 佐々木秀樹
 制作 赤間長悦
 櫻井 勤
 眞山智子
 協力 株式会社 佐浦
 佐藤 建業
 顧問 杉内浩幸



平成30年2月3日(土)チケット発売開始
 利府町公民館(十符の里プラザ) ホワイト急便 青葉台店

●あらすじ

2041年3月。
 近代的なヨットハーバーに生まれ変わった、浜田港の洞窟遺跡の岩窟に、一人の痩せこけた女が住んでいました。物乞いをして歩くその女こそ、20年前、ここ利府町において唯一の津波犠牲者となった、少女の母親であったのです。(注：物語上)
 震災の日、福島原発と女川原発の中程にある、松島湾に突き出した自然の栈橋、馬の背で、恐ろしい力が目覚めようとしていました。そこに偶然居合わせた母子、そして神世の時代から利府の資源を守ってきた個性あふれる5人の戦隊ヒーロー達。
 松のたてがみを潮風になびかせ、悠久の時を経て、寄り添う親子の馬の背。利府町赤沼浜田地区を舞台に、旧跡を辿りながら、5人の資源エネルギーの神々とその仲間達が、あの世とこの世、過去に未来に駆け巡り、少女を助けようと奔走する、涙あり笑いありのお芝居です。